

# 金沢市持続可能な社会を形成するための連絡会ニュース

第19号 平成17年1月14日発行

事務局 金沢市環境保全課内 担当 田中

連絡先 TEL 234-5132 FAX 220-2518

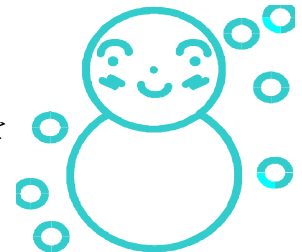
URL: <http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/kanho/index.htm>

新年、あけましておめでとうございます。今年も「金沢市持続可能な社会を形成するための連絡会」を、よろしくお願いいたします。

昨年は、猛暑、過去最高の台風上陸とそれに伴う集中豪雨、さらに中越地震と気象に関する災害がつづきました。また、季節ごとの平均気温も各地で平年を上回っており、地球温暖化の影響が身近に感じられる状況となりました。

1997年に採択された京都議定書も本年2月発効されることとなり、温室効果ガスの削減に向けた取り組みが、国をあげて本格的にスタートしようとしています。

事業者連絡会で取り組んできた地球温暖化防止の活動が、今まで以上に企業の社会的責任として重みを増すことは間違いありません。会員皆様方が取り組みの中で実施してきた様々な工夫を会員相互に提供しあうとともに、温室効果ガス削減の事例として会員外の企業に広く普及していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 温暖化防止実行計画策定企業が62社に

さる12月22日、通算7回目となる地球温暖化防止実行計画の認定証授与式が金沢市役所4階会議室「兼六」で行われました。今回計画を策定したのは、次の7社で、これまでに計画を策定した55社と合わせ62社となりました。

策定企業名（計画書提出順）

株式会社北陸環境サービス

環境開発株式会社

株式会社コシハラ

株式会社近藤工務店

株式会社環境公害研究センター

北陸ゼロックス株式会社

双電産業株式会社



今回策定した7社の実行計画の概要については、次のホームページで見ることができます。

（今まで策定した55社の計画の概要についても、同様に見ることができます。）

[http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/kanho/menu/jizoku\\_kanou/SUSTAINABLE\\_COMMUNITY.htm](http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/kanho/menu/jizoku_kanou/SUSTAINABLE_COMMUNITY.htm)

\* 実行計画は簡単な環境マネジメントシステムです。策定に取り組み計画を実行することによって、経営の見直しがなされ、省エネ等の効率化につながります。取り組み方がわからない、目標の設定で悩んでいる等困っていることがあれば、事務局に気軽にお問い合わせ下さい。

## 第27回連絡会

# (株)金沢村田製作所における環境保全の取り組み

第27回連絡会を、9月1日午後2時から、金沢市保健所3階ホールで実施しました。

(株)金沢村田製作所環境管理課長の東典弘氏を講師に、「(株)金沢村田製作所における環境保全の取り組み」について講演をしていただきました。

(株)金沢村田製作所は ISO14001 の認証取得後、7年経過しており、その間に取り組んできた省エネルギー等の環境保全の取り組みは、大変に参考になる内容でした。以下、取り組みの概要について紹介します。

### ■省エネの取り組み

#### ①クリーンルーム空調機器のフィルター改善

電子セラミックスを加工するため、極めて清浄度の高いクリーンルームを保有していますが、その空調用機器のフィルターを、圧力損失の少ないものに交換し、電気使用量を大幅に削減することができました。



(クリーンルームフィルター改善略図)

#### ②冬季の冷房の方式を変更

冬季でも冷房が必要な箇所について、従来、吸収式冷温水機を使用していましたが、既存のクーリングタワーを利用し外気にて冷水を生成する方式(フリークーリング)に変更し、冷温水機の燃料を削減することができました。

#### ③高圧コンプレッサーの設定圧力低減

コンプレッサーの設定圧力が必要以上に高かったため、可能な範囲で低減し電気使用量を削減することができました。

### ■廃棄物の削減

分別の細分化(150種以上)によりゼロエミッションを達成しました。サーマルリサイクル(燃焼熱回収)からマテリアルリサイクル(原材料回収)になるように取り組んでいます。

### ■リスクマネジメント

- ① 有機溶剤の地下浸透を未然に防止するため、保管庫の床面等に地下浸透防止剤をコーティングしました。



(有機溶剤保管庫内の床面コーティング)

- ② 地下貯油タンク及び地下埋設配管を地上化し、油漏洩時の早期対応を可能にしました。
- ③ 油等の流出事故時、油が公共用水域に流出しないように、敷地内側溝の最終放流口に緊急遮断ゲートを設置しました。

### ■その他

#### ①緑化及び地域貢献

緑化をかねて敷地内で果樹を栽培し、収穫した果実を老人介護施設に贈呈しています。

#### ②環境コストの把握

環境保全活動に要した施設改修、廃棄物処分等の費用を環境コストとして把握し、環境経営の基礎資料としています。

#### ③今後の課題

使用する部品、材料の成分を明確にし規制化学物質が含まれていない材料で製品を開発できるような仕組み作りをしていきます。

## 第28回連絡会

# 環境配慮型経営の促進 と省エネビジネス

第28回連絡会を、12月1日午後2時から、金沢市保健所3階ホールで実施しました。

日本政策投資銀行北陸支店次長の坂上隆氏を講師に、「環境配慮型経営の促進と省エネビジネス」について講演をしていただきました。

日本政策投資銀行は、平成16年4月から、「環境配慮型経営促進事業」を新規に開始しており、その制度の説明を含め、当行が取り組んでいる環境経営に対しての優遇制度等について説明がありました。以下、講演の概要を紹介いたします。



### ■日本政策投資銀行の概要

平成11年10月日本開発銀行と北海道東北開発公庫の業務を承継し設立し5年経過しました。

社会・環境・経済の調和のとれたサステナブル（持続可能）な社会の構築を目指し、民間の金融機関が対応しにくい事業への長期的融資・投資を行っています。

### ■主な事業内容

#### (1)地域再生

地域街づくり支援（市街地再開発等）や地域社会資本整備支援（地方私鉄・バスの整備等）に取り組んでいます。

#### (2)環境対策

環境保全施設への投・融資（風力発電やリサイクル施設等）や環境配慮型経営促進の支援に取り組んでいます。

#### (3)技術・新産業創出

ベンチャー企業への投・融資に取り組むとともに、技術事業家支援センターを開設しました。

### ■環境問題への取り組み

#### (1)環境関連投・融資の実績

- ①公害対策（1960年代） 公害防止融資制度
- ②エネルギー対策（1970年代）  
再資源化融資制度、省エネ融資制度
- ③地球環境問題（1990年代）  
ISO14001 取得・更新融資制度

#### (2)自らの環境活動

- ①UNEP（国連環境計画）「環境と持続可能な発展に関する金融機関声明」に邦銀で初めて、2001年6月に署名しました。
- ②ISO14001 の認証を2002年11月に取得しました。

### ■環境配慮型経営促進事業の概要

#### (1)主旨

従来の公害防止設備に対する融資から、企業の環境配慮型経営全体に必要な資金融資に転換しました。（環境配慮型経営とは企業の社会的責任である環境保全に配慮する経営）

#### (2)事業概要

- ①環境スクリーニング評価により、環境配慮型経営度を評点化します。
- ②評価点により、環境格付けを行い、融資の適否及び金利を決定します。

### ■省エネビジネス

ESCO 事業とは、省エネルギーサービスを包括的に提供するビジネスで、事業に取り組む企業がふえれば、環境保全を推進するだけでなく、地域の活性化にもつながります。

\* 日本政策投資銀行の事業内容の詳細については、次のアドレスをご覧ください。

<http://www.dbj.go.jp/japanese/environment/finance/program.html>

## 幹事会活動報告

10月13日（水）に今年度2回目の幹事会として、（財）新エネルギー財団及び松村物産（株）主催の「定置用燃料電池に関する講演会と金沢サイト見学会」に参加いたしました。

講演会では、福井工業大学の村橋俊明教授より「燃料電池の現状と課題」と称して、燃料電池の原理、最近実用化にむけ期待されている「固体高分子電解質膜型」の特徴、さらに、今後の技術的課題についてわかりやすく説明していただきました。

つづいて、松村物産(株)長田給油所に設置されている固体高分子型燃料電池を見学しました。当施設は(財)新エネルギー財団が全国34ヶ所で実施している試験サイトの一つで、水素供給源としてナフサを使用していました。

燃料電池の普及にあたっては、高効率運転システムや製造コスト等においてまだまだ課題がありそうですが、分散型電源として大きな可能性を秘めており、大変興味深い内容でした。

## 情報交差点

### イベント参加報告



#### ◆ESCO 事業セミナー

9月9日(木)10:30から石川県地場産業振興センターにおいて、(財)石川県産業創出支援機構の主催により、ESCO 事業セミナーが実施されました。

はじめに、(財)省エネルギーセンターESCO 推進室の高橋室長から「ESCO 事業」の概要について説明がありました。

その後、事例としてコマツ栗津工場の滝根安全課長からESCO 導入の経緯から取り組みの具体的な内容について紹介がありました。

ボイラーの高効率化等に取り組み、4%以上の省エネを達成したとのことでした。

ESCO 事業の詳しい説明及び導入事例については、(財)省エネルギーセンターのホームページをご覧ください。

<http://www.eccj.or.jp/>

#### ◆環境経営フォーラムいしかわ2004

12月22日(水)13:30から石川県地場産業振興センターにおいて、「環境経営フォーラムいしかわ2004」が、石川県環境政策課の主催により開催されました。

はじめに、今年度改定された「エコアクション21」の内容について、環境省環境経済課の沢味課長

補佐から説明がありました。

つづいて、「エコアクション21」の認証・登録制度について、(財)地球環境戦略機関持続センターの森下事務局長から紹介がありました。

旧エコアクション21を取得している事業所に対する経過措置もありますので、詳しくは(財)地球環境戦略機関 持続性センター エコアクション21事務局までお問い合わせ下さい。

TEL: 03 (3509) 7903 FAX: 03 (3595) 1084

<http://www.ea21.jp/>

### アイドリングストップについて

冬場は、自動車の使用に伴う燃料消費量が増えやすい時期です。



スタート時の暖気運転を短くしたり、停車時のアイドリングをさけることで自動車のエネルギー消費を抑えることが可能です。

「アイドリングストップ」をもう一度見直し、費用をかけずに確実な燃料削減につなげましょう。

環境保全課で作成したリーフレットがありますので、必要な方は事務局までご連絡下さい。

### 国の来年度予算案から

環境省の来年度予算の中から、地球温暖化に関する事業をいくつか紹介します。

#### ◆二酸化炭素排出量削減モデル住宅整備事業

住宅用の太陽光発電システム、断熱資材、高効率給湯器をパッケージで導入することにより、二酸化炭素排出量を通常の住宅より大幅に削減する住宅を設置する者に対して、費用の一部を補助します。

#### ◆温室効果ガスの自主削減目標設定に係る設備補助事業

自主参加型国内排出量取引制度に参加する事業者は、一定量の排出削減を約束し、国内における省エネ・代エネによる温室効果ガス排出抑制設備導入への補助をうけることができます。

\*事業の概要については、環境省のホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/guide/budget/index.html>